External assessment 2022

Stimulus book

Japanese

General instruction

• Work in this book will not be marked.



THIS PAGE IS INTENTIONALLY BLANK

Stimulus 3

六月六日 土曜日 雨

先週までバイトの後、葵先輩が毎回、僕を車で家まで運転してくれていた。 だけど先輩はバイトをやめて留学をしに行った。

この五年間、先輩はいつも僕のことをたすけてくれた。

初めて会ったのは中学一年生の時。先輩は中学三年生だった。バスケ部でけがをした時、先輩は僕にバンドエイドをくれた。

高校に入ってからも、先輩はやさしかった。

高校一年生の時、僕は近くのコンビニでバイトを始めた。そこで先輩が働いているのを見た時はドキッとした!僕はバイトでミスが多かった。毎日お客さんに「すみません」と言っていた。マネージャーによく「健はしょうがないな」と言われた。そんな時も先輩は僕に店のそうじや、サービス用語を教えてくれた。

高校三年生の時、僕はゲームマニアで勉強が苦手だった。先輩は僕に将来の夢について、いいアドバイスをしてくれた。先輩は僕のスケッチを見て、「健くんは しゅっ とくい 美術が得意だから、デザインの道はどう?」と言ってくれた。その時「好きなことを 大学で勉強しよう!」と決めた。

先輩は頭がいいから、バイトの後、僕の苦手な英語も教えてくれた。そのおかげで 大学に行けた。

僕は先輩のポジティブなエネルギーが大好きだ。でも、先輩の顔を見たら、はずか しいから、「ありがとう」と言えない。

葵先輩、本当にお世話になりました。

